

唐原川プロジェクト ～大学のそばを流れる川の小さな自然再生～

【活動場所】 福岡県福岡市 唐原川（二級河川）

【実施体制】 九州産業大学の学生たち、唐原川を考える会



公益財団法人リバーフロント研究所
和田彰主任研究員による
そんなに堅苦しくない講義

7月1日（4限）1209教室



唐原川プロジェクトとは

・「グリーンインフラ論」の講義を通して
「小さな自然再生」を知り、唐原川で実践
**自分たちで川を改善し生物（特に在来種）
の生息に適した多様な環境を作りたい！**



- ・草刈りによる外来植生の駆除
- ・ワンドやたまりの造成
- ・掘り出した石を活用した石倉づくり



和田さんにも来てもらいました！！

唐原川プロジェクトの効果

🌟良かった点

- ・活動後は水が綺麗になって、生き物も増えた（気がする）
- ・出水後のワンドを実際にウナギやコイが利用していた。
- ・セイバンモロコシ等の外来種を刈り取ったことで、景観が良くなった。
- ・近くの保育園の子供たちが興味を持って川を観察するようになった。

🌧️改善すべき点

- ・メダカの利用を想定してワンドやたまりを作ったが、秋の調査ではメダカはいなくなっていた。
- ・深みがあって危ないところもある

小さな自然再生について書かれた冊子↓



①悩みごとや困りごと

- 改修前にはいたはずのメダカがいなくなった・・・

- アメリカザリガニやウシガエルなどの外来種も多い。
☞生態系への影響だけでなく、ウシガエルの鳴き声は近隣への騒音被害にも繋がる。

- 調査中に入口の鍵を閉められたことがある。
☞地域の方との情報共有や協力が不十分？

- 大学の講義で関われるのは1年次のみ🌧️継続的に改善していくには？

②知りたいこと・学びたいこと

- ワンドを作るなどしたが、大雨の後にメダカがいなくなりました。
☞構造の問題？季節的な問題？
- 冬場の調査では魚類の数が全体的に減っていた。今後回復するのか！？
☞今後も定期的な調査を続けたい

③今後コラボしたい“こと”や“人”

- 授業で唐原川の保全に関われる機会は1年次のみであり、継続的に関わってほしい仲間・集まりを作りたい。
☞学科・学部を超えた緩いサークルのようなものを！
- 活動を続けていくにあたって、地域の方との連携を強めていきたい。
☞活動場所のすぐそばには保育園もある
- 以前、唐原川で行われていた花見をするのもいいよね★

活動のきっかけ

九州産業大学のそばを流れる唐原川に着目

荒れた状態の唐原川



愛護活動をしている地域の方

草ぼうぼう、ゴミもたくさん、地域の気持ちも離れている



高齢化で年数回の川沿いのゴミ拾いが精いっぱい
→地域の人と協力して改善に取り組むことが不可欠！

多くの学生が自ら考えた唐原川の改善活動を実施！



9月の生態系調査では、ウナギの稚魚やコイ、モクズガニも見つけられた！



大量のごみや植物を回収した

